

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立深江小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	東成区
学 校 名	大阪市立深江小学校
学 校 長 名	西岡 貴史

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立深江小学校では、第6学年 42名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立深江小学校の結果概要

国語・算数ともに大阪府平均・全国平均を上回り、全体として良好な結果であった。特に基礎的な知識・技能の定着が見られた。一方で、算数では「根拠を示して説明する」「考え方を文章で表現する」などの記述問題に課題が見られた。

無解答率は国語・算数とも低く、何とか問題を解こうと努力する姿が感じられる。

児童質問紙からは、学習に前向きで、自己肯定感や教師との信頼関係も概ね良好であることがわかる。一方で、学校生活の楽しさや友達関係の満足感、困りごとを相談できる環境づくりに課題が見られる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

- ・「読むこと」（正答率71.4%）、「話すこと・聞くこと」（69.8%）、「書くこと」（54.8%）のすべてで全国平均を上回った。
- ・特に、自分の経験と結び付けて考えを書く問題（83.3%で全国比6.9）、漢字の書き取り（88.1%で全国比8.1）で高い正答率であった。
- ・一方で、資料を引用して自分の考えを書く記述問題（38.1%で全国比+4.6）は正答率が低く、今後の課題である。

【算数】

- ・領域別では、「数と計算」（正答率63.4%）、「変化と関係」（48.4%）、「データの活用」（53.0%）などで全国平均を上回った。
- ・特に、小数の理解（97.6%で全国比+3.1）、帯グラフの読み取り（83.3%で全国比+8.4）、割合や概数の問題で高い成果が見られた。
- ・一方で、異分母分数の大小を説明する記述問題（35.7%で全国比-8.3）、直方体の送料の求め方を説明する問題（40.5%で全国比+4.4）など、理由を説明したり記述したりする問題に課題が見られた。

質問調査より

- ・「自分にはよいところがある」「先生がよいところを認めてくれている」と感じている児童が多く、自己肯定感や教師との関係は良好である。
- ・「人が困っているときは助ける」「将来の夢や目標がある」と答えた児童も多く、前向きな意識が見られる。
- ・「学校に行くのが楽しい」「友達関係に満足している」と答えた割合は全国平均を下回り、学校生活への満足感や人間関係に課題が見られる。
- ・国語・算数ともに「授業内容がよく分かる」「将来役に立つ」と感じている児童が多く、学習への理解は良好である。
- ・ICT機器を活用した学習への抵抗感は少なく、情報収集やプレゼンテーション作成などにも一定の自信を持っている。

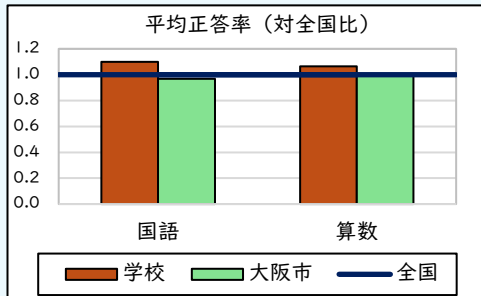
今後の取組（アクションプラン）

- ・国語・算数ともに「なぜそう考えたのか」を説明したり、根拠を示して自分の考えを書いたりする学習を充実させる。
- ・ペアやグループでの話し合い活動を継続し、多様な考えに触れながら自分の考えを深める授業づくりを進める。
- ・ICT機器を効果的に活用し、情報を整理・分析したり、自分の考えを発表したりする学習機会を増やす。
- ・学校生活をより楽しいと感じられるよう、児童一人ひとりが活躍できる場面や達成感を味わえる機会を充実させる。
- ・互いのよさを認め合う活動や協働的な活動を通して、よりよい人間関係づくりを進める。
- ・児童が悩みや困りごとを相談しやすい環境づくりに努め、教職員による丁寧な見守りと支援を充実させる。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

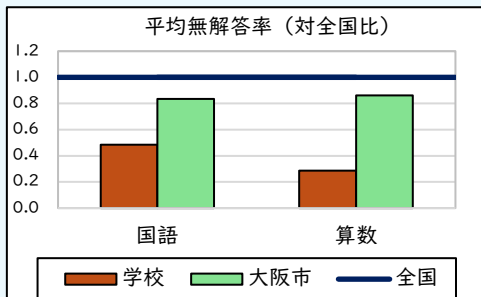
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	67	60
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



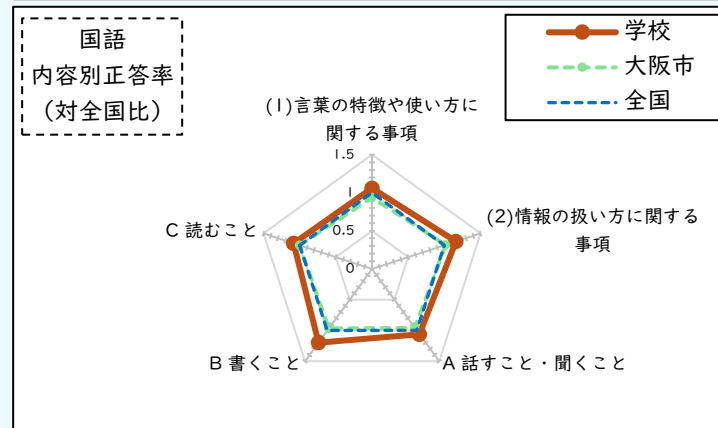
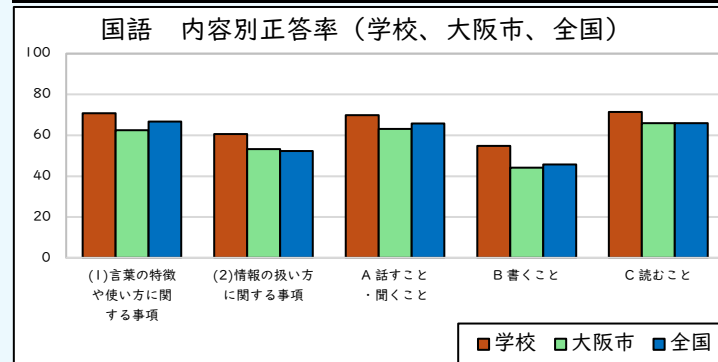
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.7	0.9
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



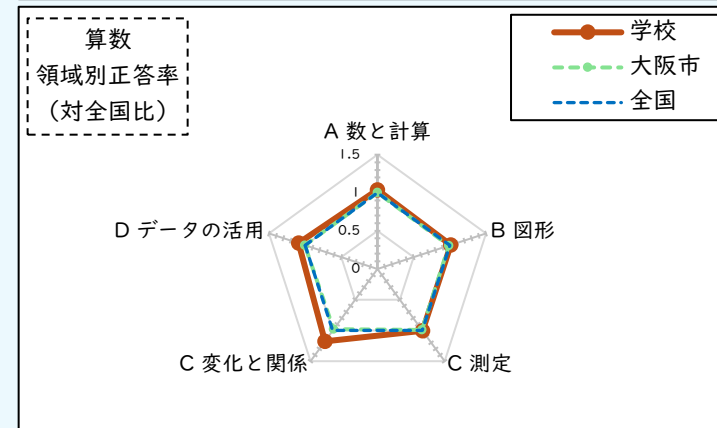
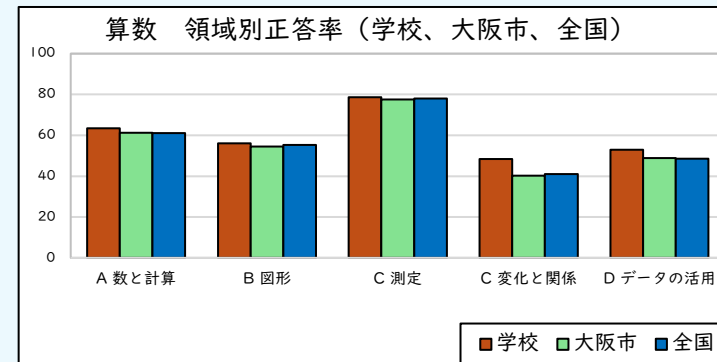
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	70.8	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	60.7	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	69.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	54.8	44.2	45.7
C 読むこと	2	71.4	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	63.4	61.2	61.1
B 図形	4	56.0	54.5	55.3
C 測定	1	78.6	77.5	78.1
C 変化と関係	3	48.4	40.3	41.1
D データの活用	4	53.0	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

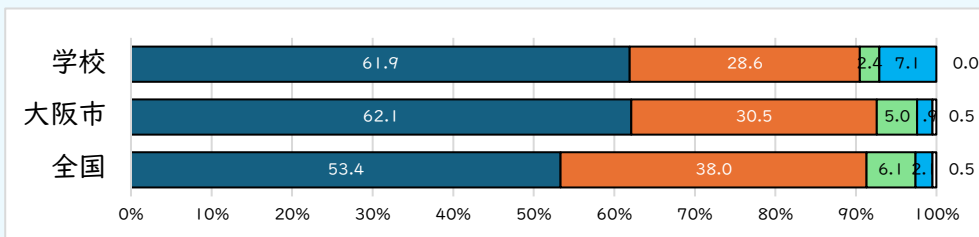
1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

質問番号

質問事項

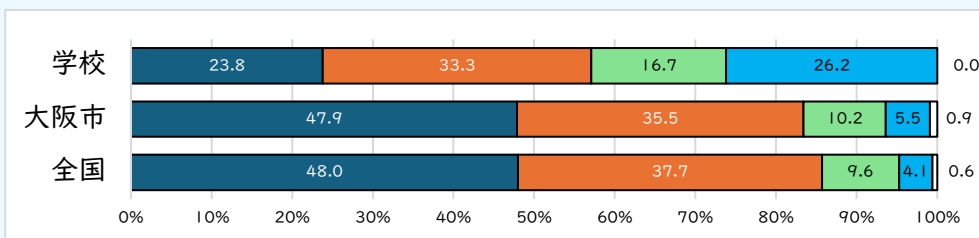
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



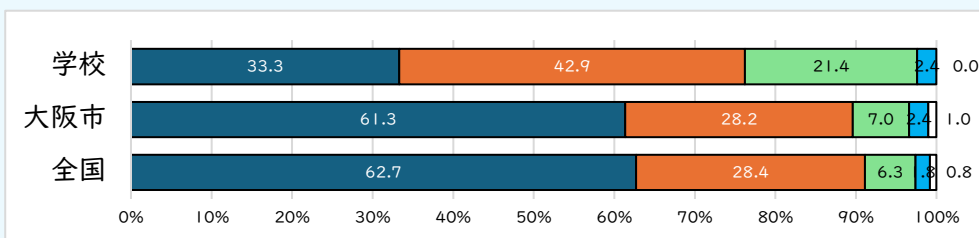
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(15) 学校に行くのは楽しいと思いますか



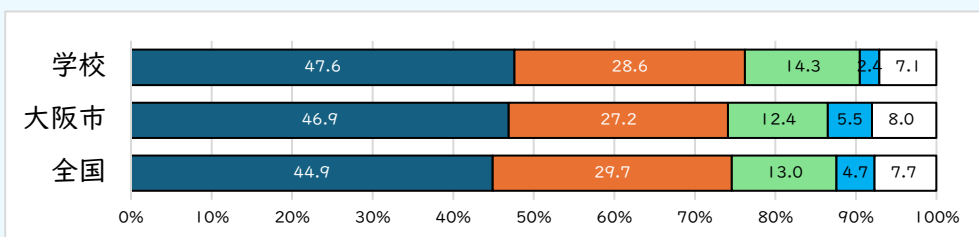
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(17) 友達関係に満足していますか



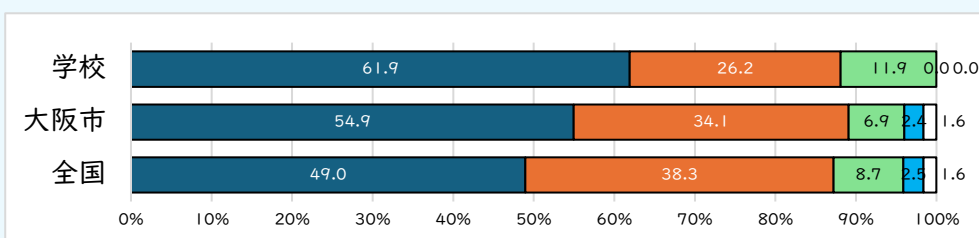
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(36-4) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますと思いますか



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(45) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

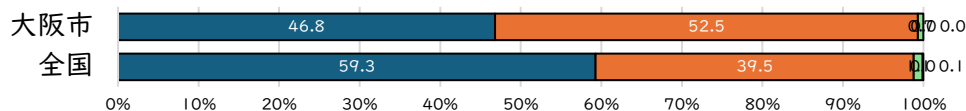
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

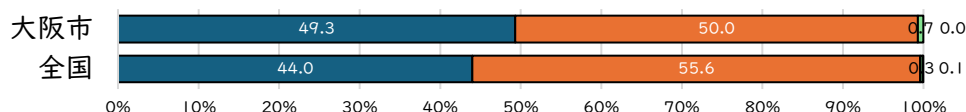


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 2 一部取り入れている

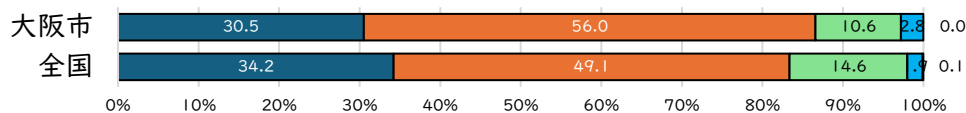


1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入っていない

(24)

児童にとって、学校施設全体として、児童が学びや生活がしやすく、居心地のよい建物だと思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

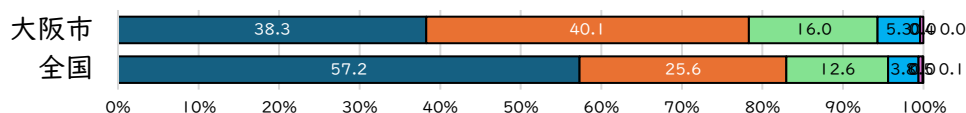


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(60)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

【学校の回答】 2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業）

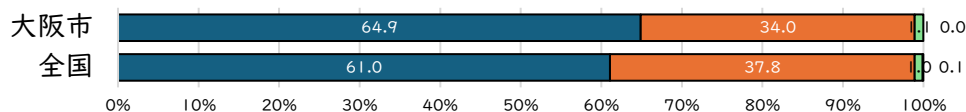


1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
3 週3回以上
4 週1回以上
5 月1回以上
6 月1回未満

(72)

前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、発達障害を含む障害のある児童も含めた、多様な児童が通常の学級に在籍していることを前提に、学級全体での指導の工夫を行いましたか

【学校の回答】 1 十分に行った



1 十分に行った
2 一部行った
3 全く行わなかった